

大久保病院 第152回

医療連携講演会



演題

「高齢化社会の慢性腎臓病（CKD）
-腎硬化症を中心に-」

演者

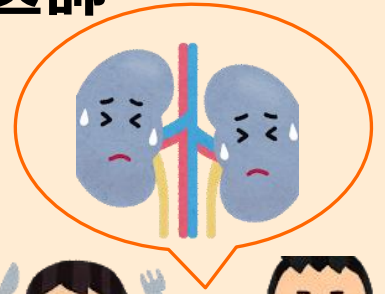
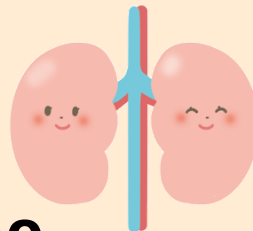
大久保病院
腎臓内科医長 小川 俊江 医師

日時

令和2年
9月24日(木)
19:30 ~ 21:00 (質疑応答含む)

場所

大久保病院 7階会議室



参加者：30名限定

今回は、先着30名の参加者で感染予防に努めながら、アットホームな講演会とさせていただきます。

【講演概要】

現在、国内のCKD患者は1300万人以上に上ります。CKDの原因は糖尿病や慢性腎炎のほかに、高齢者では腎硬化症が多くみられます。腎硬化症は高血圧によって長期に血管が障害され起こるため、その予防には若年からの生活習慣是正や薬剤での血圧コントロールが重要です。

また、高齢者が腎不全となった際、個々の原疾患や合併症、生活環境などに応じ治療を検討し、腎代替療法についても患者本人、家族、医師、コメディカルでの相談を重ね方法を選択することが必要です。

今後迎える超高齢化社会へ向けて、腎機能障害を未然に防ぐ若年者へのアプローチと、高齢者の腎不全治療について考えてゆきます。

《 参加申し込み お問い合わせ 》
(公財)東京都保健医療公社 大久保病院
患者支援センター 地域連携係
電話：03(5273)7711 内線2131

日本医師会生涯教育制度参加証(1.5単位)を配布予定です。(カリキュラムコード73・74・82)

<共催>新宿区医師会